

2022年2月10日

各 位

会 社 名 シンバイオ製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
 (コード番号: 4582)
 問合せ先 執行役員兼 CFO 福島 隆章
 (TEL. 03-5472-1125)

2021年12月期の通期業績予想と実績の差異 及び法人税等調整額（益）の計上に関するお知らせ

本日公表した「2021年12月期 決算短信」の実績と、2021年2月4日に公表した「2021年12月期の通期業績予想」と下記の通り差異が発生いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期 通期業績予想と実績との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	9,151	1,361	1,350	1,149	29.99
今期実績（B）	8,256	1,016	1,001	2,032	53.04
増減額（B－A）	△894	△344	△348	883	－
増 減 率（％）	△9.8	△25.3	△25.8	76.9	－
（ご参考）前期実績 （2020年12月期）	2,987	△4,506	△4,615	△4,090	△124.13

2. 差異の理由

今期の売上高と通期業績予想との差異は、①自社販売を開始した2020年12月以前に前業務提携先であるエーザイ株式会社に販売したトレアキシン®凍結乾燥注射剤（FD製剤）の市中在庫の消化分の影響によるもの、②新型コロナウイルス感染拡大による治療の見合わせ、治療開始の遅延、③コロナ禍の環境において、各施設による訪問規制等の営業活動に対する制限によるものと考えております。

また、FD製剤からトレアキシン®点滴静注液剤（RTD製剤）への切り替えが進んだことにより、期末のFD製剤のたな卸資産の評価損失等331百万円を売上原価に計上しております。このような事態にもかかわらず、自社による営業により、営業利益1,016百万円及び経常利益1,001百万円といずれも10億円を超える利益計上となりました。

3. 法人税等調整額（益）の計上

当期純利益につきましては、2021年12月期の業績等を考慮し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を1,275百万円計上し、法人税等調整額（益）を計上したことにより、通期業績予想の1,149百万円を76.9%上回る結果となりました。

詳細につきましては、本日（2022年2月10日）公表の「2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」を併せてご覧ください。

以上